

外来クオリティ向上委員会

1. 目的

・外来診療活動（在宅・DM・眼科・もの忘れ外来等の医療活動含む）に係る活動上の事項の調整を行います。

・外来診療活動の水準を引き上げるための課題を検討し手順を整備します。

2. 委員構成

看護師、事務次長、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士

3. 業務内容

(1)外来と在宅の患者管理、患者満足度向上、CI・QI 改善に関する事項について統計及び管理を行い、改善事項についての提案などを発信します。

(2)管理部、部責会議で決定した事項について、委員会で協議し具体化します。

(3)委員会内部に以下の機能を持ちます。

・在宅チーム…在宅診療を行っている患者の疾患別状況や各種加算の算定数、仕組みの改善など、在宅担当の医師・看護師・事
・DM チーム…糖尿病で外来通院されている方の HbA1c 値改善を目的とするチーム。
看護師による診察前問診、管理栄養士による栄養相談も行っています。

査技師・病棟看護師・事務で構成。

・もの忘れ外来・禁煙チーム…物忘れ外来の認知症プログラム作成や患者別ファイルなど作成し管理しています。禁煙プログラムや達成件数を把握する。

4. 実績

(1)透析予防管理料のプログラム作成と算

定開始しました。医師、看護師、栄養士と連携し患者さんの生活と病気の進行予防を支えています。

(2)慢性疾患管理について…定期通院している方に、採血が必要な薬や疾患について病気の早期発見も含めて登録管理を行っています。今年度は、疾患別検査予定表の内容を全面的に見直して、より専門的なものへ変更しました。

(3)外来ニュース作成…外来診療点数、診療報酬改訂、院内の診療に関わる情報を医局や外来スタッフに向けて配信しています。

(4)物忘れ外来…今年度は 32 名の方がもの忘れ外来を受診しました。受診希望の方が徐々に増えたため 8 月から外来枠がひろがりました。脳トレ広場との連携も出来ました。認知症予防プログラム（日常生活・運動・食事）を作成しました。今後はプログラムを使用し認知症予防に努めていきます。

(5)在宅カルテの共有…在宅での生活が安心・充実したものになるために西部地域の病院・診療所・老人保健施設で協力し地域連携安心ファイルを作成しました。2016 年 6 月から当院往診管理になっている患者様に全員配布し、往診時の利用だけでなく入院時やショートステイ利用時等にも持参して頂きそれぞれの部署で情報を記載することで情報共有が図れるようになりました。

(6)疾患別学習会開催…認知症、糖尿病、脂質異常症、緩和医療、輸液療法について学習会を開催しました。